

公 共 施 設 等 総 合 管 理 計 画
策定推進本部（第 5 7 回）資料

令和 8 年 7 月 2 9 日
子ども家庭部保育課

小金井市立保育園の施設更新について

1 保育施設部会における主な協議事項

(1) 第 1 回（令和 8 年 5 月 1 3 日（水）実施）

ア スケジュール概要の確認

イ わかたけ保育園の施設更新に係る仮園舎候補地について意見交換
（現行敷地内実施・天神前集会施設・前原三丁目公園・下弁天広場）

(2) 第 2 回（令和 8 年 7 月 2 1 日（火）実施）

ア わかたけ保育園に係る構造体調査結果の共有

イ 構造体調査結果を踏まえたわかたけ保育園の施設更新（案）の共有

2 わかたけ保育園 施設更新の方向性

ア 構造体調査の結果（別添 1）に加え、現施設の構造的な課題（エントランスや廊下が狭くバリアフリー化がされていないこと、相談室や収納スペースが不足していること等）の解消にさらにコストを要することを鑑み、長寿命化ではなく建て替えを前提とする。

イ 仮園舎候補地について比較検討を行った結果、現行敷地内での施設更新を前提として検討を進める。

3 今後のスケジュール等

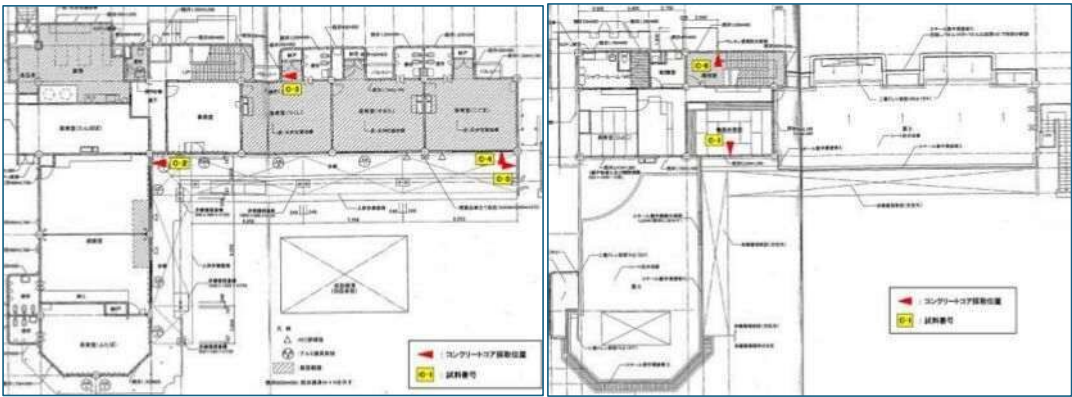
令和 8 年 9 月以降、施設更新の方向性に基づき、施設利用者アンケート及びワークショップ等により市民意見を聴取予定。

わかたけ保育園 構造体調査結果のまとめ

1. 構造体調査の目的

わかたけ保育園の更新方法を検討するため、既存建物の構造体健全性及び劣化状況を把握することを目的とし、施設内の6箇所から採取した試料を用いてコンクリートの圧縮強度試験、中性化深さ試験及び鉄筋探査等を実施した。

2. 試料採取位置



3. 調査結果

圧縮強度試験では、採取したコア6本のうち5本が設計基準強度を下回る結果となり、設計時に想定していた建物耐力が不足していると考えられる。また中性化試験では、6本のうち3本について、中性化が鉄筋位置まで進行していることが確認された。これにより鉄筋の腐食が既に始まっていることが想定される。

表 3.2.1 圧縮強度試験結果

採取部位	試料番号	圧縮強度	比較	設計基準強度
		(N/mm ²)		
2階壁	C-1	13.9	<	18.0N/mm ²
1階壁	C-2	17.6	<	
1階壁	C-3	15.3	<	
1階壁	C-4	14.6	<	
1階壁	C-5	23.5	>	
2階壁	C-6	17.7	<	

表 3.3.2 中性化残り深さ一覧表

採取部位	試料番号	鉄筋種類	鉄筋かぶり厚さ ^{※1} (最小値)	中性化深さ ^{※2} (最大値)	中性化残り	鉄筋腐食が開始する 中性化残り深さ
2階壁	C-1	縦筋	76mm	9mm	67mm	57mm
		横筋	83mm	9mm	74mm	64mm
1階壁	C-2	縦筋	76mm	8mm	68mm	58mm
		横筋	68mm	8mm	60mm	50mm
1階壁	C-3	縦筋	47mm	56.5mm	-9.5mm	-19.5mm
		横筋	52mm	56.5mm	-4.5mm	-14.5mm
1階壁	C-4	縦筋	76mm	6mm	70mm	60mm
		横筋	69mm	6mm	63mm	53mm
1階壁	C-5	縦筋 前面側	43mm	36mm	7mm	-3mm
		横筋 前面側	37mm	36mm	1mm	-9mm
2階壁	C-6	縦筋 前面側	47mm	42mm	5mm	-5mm
		横筋 前面側	52mm	42mm	10mm	0mm

※¹ 鉄筋かぶり厚さ(最小値)は電磁波レーダの比誘電率8.0で測定した値を示す。
※² 採取コアによる中性化深さ測定結果値を示す。

4. 長寿命化の可否について(まとめ)

以上の調査結果より、公共施設個別施設計画(令和3年)に照らして長寿命化の可否について検討を行った。

わかたけ保育園は旧耐震基準で設計されているが、耐震補強工事を実施済みである。また、コンクリートの圧縮強度については、長寿命化の検討基準である13.5N/mm²は上回っており、長寿命化の検討対象である。

わかたけ保育園 構造体調査結果のまとめ

一方で、中性化深さの調査結果においては、中性化が鉄筋位置まで進行している箇所があり、耐久性に重大な課題が認められる。

長寿命化を目指す場合、中性化への対策を施す必要があり、劣化コンクリートの除去等を行うにはスケルトンにする必要がある。この場合、仮園舎の確保が必要となり、敷地内で仮園舎無しで建て替えるよりもコストがかかることが想定される。

以上の理由から、わかたけ保育園の施設更新の手法については、長寿命化ではなく、建て替えを前提とすることが適当と考えられる。